

請願書

令和 8 年(2026 年)6 月 2 日 浜田市議会議長 殿

請願者: 株式会社コムサグリ 住所: 浜田市相生町 3773-1

紹介議員: 森谷公昭

〔件名〕 回覧板のデジタル化に関する請願について

【請願趣旨】

現在、地域コミュニティにおける情報共有の手段として回覧板が広く利用されていますが、住民のライフスタイルの多様化(共働き世帯の増加や不在がちな世帯の存在)により、「不在時に回覧板が止まってしまう」「次の人のために急いで回さなければならず、内容をゆっくり読む時間がない」「大量の書類を回すのが負担である」といった課題が生じています。

一方で、昨今はスマートフォンの普及に伴い、コミュニケーションアプリ「LINE」等を用いた情報伝達があちこちの自治体・地域で進行し、大きな成果を上げています。

つきましては、従来の回覧板による情報伝達を継続しつつも、「LINE での受取を希望する人」と「従来の回覧板での受取を希望する人」を明確に分け、希望者には LINE を用いたデジタル回覧板で情報配信を行うハイブリッド型の運用への移行をお願いいたします。これにより、住民の精神的・肉体的負担を大幅に軽減し、より確実で迅速な情報共有体制を確立できると考えております。

【請願事項】

1. 回覧板受取方法の意向調査の実施 住民に対し、従来の「紙の回覧板」での受取を希望するか、「LINE(デジタル)」での受取を希望するか、選択制にするためのアンケート・意向調査を実施すること。
2. LINE を活用したデジタル回覧板の導入と運用 LINE での受取を希望した住民に対して、地域の連絡事項や配布物を画像・PDF 等のデータとして一斉配信できる仕組み(公式 LINE アカウントの開設など)を構築すること。
3. 効率的なハイブリッド運用の確立 LINE 移行組をスキップすることで紙の回覧板ルートを短縮し、双方の住民がストレスなく情報を把握できる効率的な運用ルールを策定すること。

